

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）：農学部

岩手大学農学部では、農学分野において基盤を成す「食料」「生命」「環境」の3つの領域を俯瞰しそれらを複合するための「農学の総合知」に関する知識を身につけ、さらに、以下に掲げる各学科・コースの学位授与の方針に該当する者に学位を授与する。

① 食料農学科

①-1 農学コース

農学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1. 農業および食品産業に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、情報技術、コミュニケーション技術に関する基礎知識を有している。
2. 食料の持続的な安定生産および安定供給、生命機能の解明と食料生産への応用に関する基礎的知識および科学的方法を理解している。

（思考・判断）

3. 農学に関する知識と理解を基礎に、関連する諸問題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめ、行動することができる。

（関心・意欲）

4. 豊かな課題探求能力と課題解決能力をもって農業および食品産業が抱える諸問題を解決しようとする意欲を持っている。

（態度）

5. 農学に関連した産業の創出・発展のニーズに、協調性と倫理性をもって、自立的・継続的に行動することができる。

（技能・表現）

6. 自らの倫理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を修得している。

①-2 食品健康科学コース

食品健康科学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1. 食と健康に関わる諸問題を理解するために必要な自然科学、社会科学、情報技術およびコミュニケーションに関する基礎知識を身につけている。
2. 農産物や食品素材の物理的・化学的特性やその加工に関する知識、栄養代謝や天然資源の健康機能素材に関する理解が身につけている。

（思考・判断）

3. 農産物や食品素材に関する知識と理解を基礎に、食糧、健康に関する諸課題・未知事項について、多面的に思考し自らの考えをまとめる能力を身につけている。

（関心・意欲）

4. 食糧、健康に関する課題や未知事項に関心を持ち、その解決・解明に取り組む意欲を持っている。

（態度）

5. 農産物、食品素材、天然資源の有効利用やその応用を通じて、食品産業や医薬品産業を始めとする食品・健康関連産業の創出・発展に寄与し、広い視野を持って地域や社会に貢献する考え方や行動がとれる。

(技能・表現)

6. 自らの知識と論理的な思考に基づいた判断結果を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得している。

② 生命科学科

②-1 分子生物機能学コース

分子生物機能学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 生物機能を理解するための基礎となる自然科学や専門知識を広い視野で俯瞰できる教養的素養を有している。
2. 生化学、分子生物学、細胞生物学、微生物学、植物生理学、応用昆虫学の専門的な基礎知識を身につけ、様々な生き物の生物機能について十分に理解している。

(思考・判断)

3. 様々な生物における分子機能に関する知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲)

4. 様々な生物における分子機能の未解決課題に関心を持ち、産業への応用をはじめとして、環境や食料、健康などの分野での問題解決に意欲的に取り組むことができる。

(態度)

5. 様々な生物における分子機能の有効利用やその応用を通じて、分析系や化学系、食品系の関連産業や研究関連分野の創出・発展に寄与し、高い倫理観を持って地域や社会に貢献する考え方や行動がとれる。

(技能・表現)

6. 自らの知識と論理的な思考に基づいた判断を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得している。

②-2 分子生命医科学コース

分子生命医科学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 生命活動のプログラムを分子レベルで解き明かす分子生命科学やその知見を医療に役立てる生命医科学を理解するための基礎となる自然科学や専門知識を広い視野で俯瞰できる教養的素養を有している。
2. 生化学、分子生物学、バイオテクノロジー、細胞生物学、生理学、神経科学、免疫学、組織形態学、再生医療工学、動物行動学などの専門的な基礎知識を身につけ、様々な生命活動のプログラムについて十分に理解している。

(思考・判断)

3. 生命活動のプログラムやその医療への応用に関する分子レベルでの知識と理解を基礎に、関連する諸課題に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(関心・意欲)

4. 様々な生命活動のプログラムに関する分子メカニズムに関心を持ち、生活の質(Quality of life; QOL)の向上に役立てる試みをはじめとして、健康衛生や疾病の予防などの生命科学に関連する問題解決に意欲的に取り組むことができる。

(態度)

5. 様々な生命活動のプログラムの分子レベルでの解明やその医療への応用を通して、医療系や製薬系、化学系、食品系の関連産業や研究関連分野の創出・発展に寄与し、高い倫理観を持って地域や社会に貢献する考え方や行動がとれる。

(技能・表現)

6. 自らの知識と論理的な思考に基づいた判断を的確に説明する表現力や、それを実践する技能を修得している。

③ 地域環境科学科

③-1 革新農業コース

革新農業コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 自然科学や情報技術および地域文化に関する基礎知識を深く理解している。
2. 革新的な農業技術の基礎および応用分野の知識を身につけている。

(思考・判断)

3. 地域の課題について考察し、課題解決のための適切な判断ができる能力を身につけている。
4. 革新的な農業技術について総合的に考察し、適切な判断ができる能力を身につけている。

(関心・意欲)

5. 持続可能な食料・農業・農村システムの実現に関心を持ち、問題解決に貢献しつつ地域農業を先導する意欲と能力を持っている。

(態度)

6. 自らの社会的責任と倫理遵守の重さを自覚し、多様な主体と協働しながら継続的に学ぶ態度を身につけている。

(技能・表現)

7. 調査・研究や各種統計によるデータを分析・利用する技能を身につけている。
8. 聞き手に明快に説明できるプレゼンテーション技能とコミュニケーション能力を身につけ、文章や口頭発表によって表現できる。

③-2 森林科学コース

森林科学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 数学、自然科学、情報処理に関する基礎的知識を持っている。
2. 森林科学の学問内容および方法を説明できる。

(思考・判断)

3. 森林の多面的機能について、総合的に考えることができる。
4. 与えられた制約の下で計画的に仕事を進めることができる。

(関心・意欲)

5. 地球的視点から、各地の文化や異なる価値観に関心を示している。
6. 自主的、継続的に学修できる。

(態度)

7. 技術者が社会に対して負っている責任を感じる。
8. チームワークを意識して行動できる。

(技能・表現)

9. 日本語で論理的に記述・発表・討議できる。
10. 森林科学の知識を利用し、社会の要求を解決するために提案できる。

④ 動物科学・水産科学科

④-1 動物科学コース

動物科学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1. 農学全体を俯瞰する幅広い知識及びその基礎となる教養を持っている。
2. 動物生産及び動物科学分野に関する知識を持っている。

（思考・判断）

3. 動物関連産業に関する課題の解決を適切に行うため、動物生産及び動物科学分野に関する知識により考察することができる。

（関心・意欲）

4. 動物関連産業に関する課題に関心を持ち、課題の解決に意欲的に取り組むことができる。

（態度）

5. 動物関連産業に関する課題の解決を客観的に行うため、情報収集及び議論を積極的に行うことができる。

（技能・表現）

6. 動物関連産業に関する課題を解決して論文又は口頭で発表を行うか、修得した動物生産及び動物科学分野の技術を実践することができる。

④-2 水産システム学コース

水産システム学コースの教育目的に則り、所定の教育課程を修了し、以下の各項目を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与する。

（知識・理解）

1. 水産システム学を実践するための数学、自然科学、社会科学、コミュニケーション（日本語・英語）に関する基礎的知識を身につけている。
2. 水産業の復興と持続的発展に貢献するために、水産科学分野に加えて、水産業に関わる人文・社会科学分野までの幅広い関連分野を網羅した水産システム学を体系的に身につけ、水産業の現状とその課題を俯瞰的視点から理解できる。

（思考・判断）

3. 水産業が抱える諸課題について多角的に分析、俯瞰的に思考し、最善の解決策を判断できる。その中で個人のそれぞれの志向に応じた専門性追求に向けて関連分野を含めた幅広い知識を修得している。

（関心・意欲）

4. 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、地域における実体験を通じた学びを通して問題解決に意欲的に取り組むことができる。

（態度）

5. 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を持つ。

（技能・表現）

6. 水産システムを構成する漁業、増養殖業、加工・流通産業を理解し、分析するための基礎的技術を身につけ、地域貢献活動などによる実体験を通して社会実践に向けた意欲が養われている。
7. 調査・実験や各種統計によるデータを的確かつ適正に分析・利用する技術、結果に基づく論理的な思考能力、および得られた結果を的確に伝えることができるコミュニケーション力（プレゼンテーション、日本語、英語）を身につけている。